

# 官学民の協働によるSDGsの実現 - ToLiTon Safty Initiative -

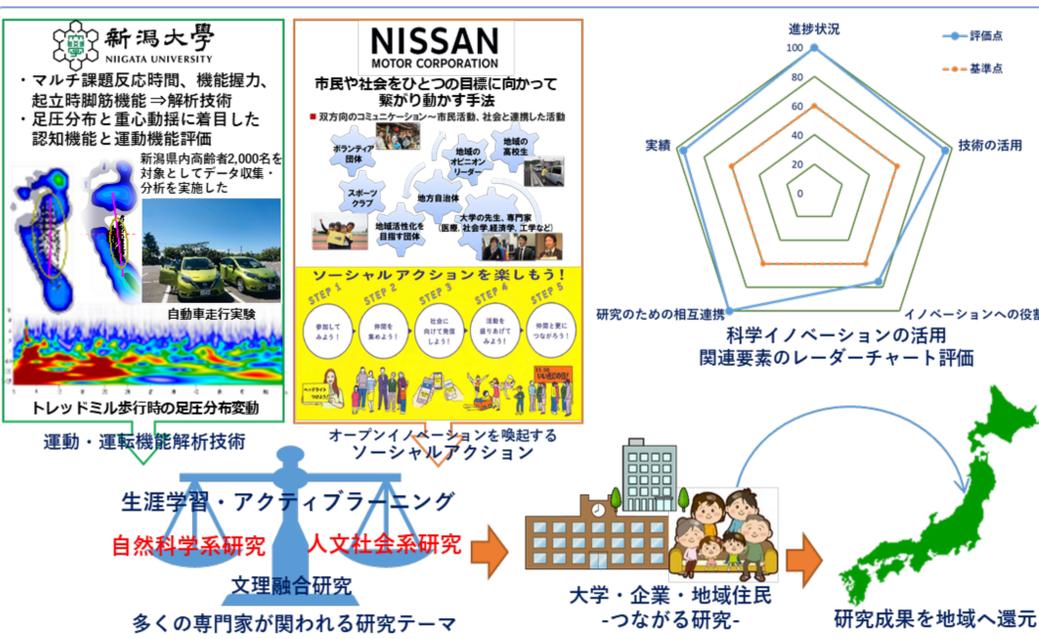


キーワード 地域デザイン、まち・生活・交通の安全、ダイバーシティ、SDGs

工学部 人間支援感性科学プログラム  
教育学部 保健体育・スポーツ科学講座 准教授 村山 敏夫

## ■概要

まち・生活・交通・の安全なまちづくりをデザインしています。「高齢者の運動・運転機能等の共同研究」では、新潟県内の自治体や各地域の団体、医療機関など、産官学が組織的に連携することで、これまでにない新たな交通安全啓発モデルの創出を目指します。「交通社会のダイバーシティ研究」では、子どもたちの交通事故の抑止を目的として保育園の連携による交通安全教育の実施、新潟県警及び行政との連携による交通環境の整備の研究に取り組みます。



成果①：意識・五感を含む運動機能解析技術確立&学習支援ツールプロトタイプ構築  
成果②：分野・地域を繋ぐ持続可能なSDGs推進体制の構築(含む：海外チーム)  
成果③：新潟県の交通事故削減(FY18 対前年度比-11.7%)に貢献  
成果④：6モデル地区+9地域で、子ども(幼児含む)-高齢者まで合計900名(国内)の活動実績



## ■今後の展望、求めるコラボレーション

新潟大学と企業・行政がそれぞれの強みを活かして、分野・地域・世代を超えた多角的連携を行い、誰一人取り残さない社会、SDGs達成ビジョンに向けて活動を進めます。

